

新型インフルエンザに関するQ&A

()内は出典です。海外の資料は翻訳した内容を掲載しています。短縮等原文に手を加えたものは、一部改変としています。

新型インフルエンザとは何ですか？（厚生労働省）

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによっておこる病気です。ヒトだけでなく、他の動物もインフルエンザウイルスに感染します。通常、インフルエンザウイルスは、例えばヒトからヒトへといった同種の間で感染するものです。

しかし、インフルエンザウイルスの性質が変わる（変異する）ことによって、これまでに、ヒトに感染しなかったインフルエンザウイルスが、ヒトへ感染するようになり、そしてさらにはヒトからヒトへ感染するようになります。この変異したインフルエンザウイルスのことを新型インフルエンザウイルスといい、そのウイルスによって起こるインフルエンザを新型インフルエンザといいます。

過去の新型インフルエンザの流行（厚生労働省）

新型インフルエンザとして、大正7年（1918年）に「スペインインフルエンザ」、昭和32年（1957年）に「アジアインフルエンザ」、昭和43年（1968年）に「香港インフルエンザ」、昭和52年（1977年）に「ソ連インフルエンザ」が流行しています。これらはいずれも世界的に流行し、多くの死亡者（たとえば、「スペインインフルエンザ」において、世界では約4,000万人、わが国では約39万人が死亡）を出しました。新型インフルエンザは、10年から40年の周期で流行するといわれています。

しかし、新型インフルエンザウイルスがいつ出現するのか、予測することはできません。

（注：これまで一般に、スペインかぜ、アジアかぜ、香港かぜ、ソ連かぜと表記してきたものについては、本資料では、それぞれ、スペインインフルエンザ、アジアインフルエンザ、香港インフルエンザ、ソ連インフルエンザと表記しています。）

パンデミックとは何ですか？（CDC改変）

パンデミックとは世界的な病気の流行を言います。毎年、日本・世界各地ではインフルエンザウイルスが地域的な流行を起こしますが、多くの人が免疫を持っているために発病する人はそう多くありません。

しかし、新型インフルエンザを起こすウイルスは従来のもとは異なり誰も免疫を持っていません。このために新型インフルエンザは世界中に急速に広がり、多くの人が病気になり、一部は死亡するといわれています。

パンデミックはどのくらいの頻度で起るのですか？（CDC・厚生労働省）

平均的にパンデミックは100年間に約3回起こるといわれています。過去120年の間、インフルエンザ・パンデミックは1889、1900、1918、1957、1968年の計5回起こりました。1957年と68年のパンデミックでは全世界でそれぞれ400万、600万人の人が死亡しました。スペイン風邪として知られる1918年のパンデミックはさらに大きな被害をもたらし、2,000～5,000万人の人が亡くなったといわれています。

次のパンデミックではどのくらいの被害が予想されていますか？（CDC）

現時点では次の新型インフルエンザは鳥インフルエンザが変異したのから発生する可能性が高いといわれています。もし、このような事態が生じた場合には世界で5000万～1億人程度の方が亡くなり、約520兆円の経済損失が出る可能性があるといわれています。

なぜ新型インフルエンザの世界的流行（パンデミック）の可能性が指摘されているのですか？（厚生労働省）

インフルエンザウイルスが変異し、新たにヒトからヒトへ感染する新型インフルエンザの世界的流行の可能性が示唆されています。新型インフルエンザがもし発生した場合、基本的にすべての人々は、そのウイルスに対して抵抗力（免疫）をもたないため、新型インフルエンザはヒトの間で、広範にかつ急速に拡がると考えられます。さらに、人口の増加や都市への人口集中、飛行機などの高速大量交通機関の発達などから、短期間に地球全体にまん延すると考えられます。この世界的流行をパンデミックといいます。ただし、新型インフルエンザウイルスがどのくらい強い感染力をもつのかについては、現段階ではわかりません。

パンデミックを阻止することはできないのですか？（厚生労働省改変）

パンデミックを阻止することは世界的にも非常に困難であると考えられています。

しかし、最近の研究では、新型インフルエンザの発生の初期で、その範囲が限られている場合においては、抗インフルエンザウイルス薬の内服と移動制限を行うことで、流行の拡大を遅らせ、次の対策を講じることができることとなります。

ただ、これまで世界中で経験がないことなので、どの程度成功するかは未知数です。初めて発生する地域で、その発生をいかに早期に発見し、適切な対策をとることが大切です。

わが国の対策については、「新型インフルエンザ対策行動計画」に示されています。

パンデミックのフェーズとは何ですか？（国立感染症研究所）

現在、世界はインフルエンザ・パンデミックが最もおこりやすい環境にあると、WHO（世界保健機関）は考えています。そのためWHOは、世界にパンデミックの脅威の深刻さおよび事前に対策計画を準備する活動を実施する必要について知らせるための制度として、パンデミック警戒レベルとして6つのフェーズを用いています（下図参照）。このフェーズというものは、世界的な視点でのものであり、個別の国に対してのものではありません。

パンデミック間期	ヒト感染のリスクは低い	1
動物間に新しい亜型ウイルスが存在するがヒト感染はない	ヒト感染のリスクはより高い	2
パンデミックアラート期	ヒト-ヒト感染は無いが、または極めて限定されている	3
新しい亜型ウイルスによるヒト感染発生	ヒト-ヒト感染が増加していることの証拠がある	4
	かなりの数のヒト-ヒト感染があることの証拠がある	5
パンデミック期	効率よく持続したヒト-ヒト感染が確立	6

新型インフルエンザが発生した場合どのくらいの人が感染しますか？（厚生労働省）

米国疾病管理センターの計算式に日本をあてはめると、新型インフルエンザが全国的に流行した場合、約1/4の人が感染すると予想され、また、医療機関を受診する患者数は最大で2500万人と推定されています。

新型インフルエンザにかかった場合にはどのような症状が出ますか？

（国立感染症研究所改変）

インフルエンザは本来、その症状の幅が大きい疾患ですが、基本的な症状は、通常のインフルエンザと同様、突然の発熱に代表される全身症状（発熱、筋肉痛、頭痛、下痢など）と呼吸器症状です。今後おこりうる新型インフルエンザの流行の際に、どのような症状が現れるかの予測は非常に難しいものがあります。

新型インフルエンザにかかったかどうか、どうしたらわかりますか？（厚生労働省）

現在、新型インフルエンザは発生しておらず、その臨床症状については予測することが困難です。将来的に、新型インフルエンザが出現した場合、特定の症状がある場合には、医療機関を受診し、専門的な検査を受けることとなります。

新型インフルエンザに対する治療はありますか？（厚生労働省）

インフルエンザの治療に使われている抗インフルエンザウイルス薬が有効であると考えられており、今回の行動計画では、2500万人分の抗インフルエンザウイルス薬を備蓄することとしました。治療薬、治療方法について、最新の知見が発表され次第、情報提供し、国がとるべきしかるべき対応策について公表してまいります。

ワクチンを打つことができなかった場合、タミフルなどの抗インフルエンザ薬で身を守ることはできますか？（CDC）

はい。タミフルはワクチンではなく抗ウイルス薬です。感染早期にタミフルを内服すると症状が改善することがあります。しかし、無差別に使用されるとインフルエンザウイルスはその薬に対して抵抗性を持つようになります。また、タミフルは発熱後48時間以内の内服にしか効果がなく感染後早期にタミフルを使用した場合でも亡くなる場合があります。このためワクチンによる予防が最も効果的な方法といえます。

国内でタミフルを個人で購入することはできますか？（東京都・横浜市改）

タミフルは医師の診察・処方がないと購入できません。

ワクチンや抗インフルエンザ薬以外に身を守る方法はありますか？（CDC）

はい。効果的なくつかの方法があります。

①手をよく洗う、②くしゃみの時には口を手やティッシュで覆う、③具合の悪いときは出歩かず家にいることなどはいずれも有効な方法です。日ごろから習慣付けるようにしましょう。

通常のインフルエンザワクチンは新型インフルエンザに有効ですか？（CDC改変）

いいえ。新型インフルエンザに通常のインフルエンザワクチンは効果がありません。

しかし、通常のインフルエンザも健康状態に影響を与えることになるため無駄にはなりません。

- ・通常のインフルエンザから身を守るためにワクチンを接種しましょう。
- ・また、家族のワクチン接種が最新のものであるか確認しましょう。

海外渡航時に新型インフルエンザウイルスにかかる可能性はありますか？（国立感染症研究所改変）

少なくとも今、海外渡航により新型インフルエンザにかかる可能性は極めて少ないと考えてよいでしょう。また、WHO（世界保健機関）は、2006年12月時点では新型インフルエンザの感染の可能性を理由とした渡航制限の勧告はおこなっていません。

ただし、鳥のあいだでインフルエンザが流行している地域、あるいは鳥インフルエンザのヒト感染症例が発生している国に渡航する場合には、感染の可能性のある鳥類との直接の接触は避け、また生きた鳥を販売している市場や、家禽（ニワトリやアヒルなど家畜として飼っている鳥）の飼育場への不必要な訪問も避けるなどの注意が必要です。

新形インフルエンザの予防はどうしたら良いのですか？（厚生労働省）

通常のインフルエンザは、感染した人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫とともに放出されたウイルスを吸入することによって感染します。そのため、外出後のうがいや手洗い、マスクの着用、流行地への渡航、人混みや繁華街への外出を控えることが重要です。

また、十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、日頃からバランスよく栄養をとることも大切です。現状では新型インフルエンザは出現していませんが、出現した場合も通常のインフルエンザと同様に感染防御に努めることが重要です。

パンデミックがおこったときの個人防衛策はありますか？（国立感染症研究所改変）

パンデミックを拡大させないためにもっとも重要なことが、インフルエンザに罹患し、咳嗽などの症状のある方は咳やくしゃみをする際にはティッシュで口元を覆うか、マスクを着用してもらうということです。

もちろん、室温、湿度の管理、バランスのよい栄養の摂取、手洗いとうがいなど、一般的な個人衛生と体調の管理も個人で行える対策です。感染したヒトとの接触を可能な限り減少させると言うことが大切です。国レベルの対策として、学校を閉鎖したり、公共施設や映画館などを閉鎖したり、あるいは集会を禁止したりということも考えられていますが、職場や家庭においても接触機会を減らすことは重要なことであり、パンデミックになった際に可能な限り感染している（かもしれない）ヒトとの接触を減らすために、どのような生活パターンとするか、あるいは外出機会を減らすために生活必需品を備蓄しておくなどを考えておくことが勧められます。

パンデミックになった場合、どのようにして身を守ったらよいですか？（CDC）

最も有効な方法はワクチンを打つことです。新型インフルエンザワクチンは新型インフルエンザの世界的流行を起こしているインフルエンザウイルスから作られますが、反対にいいますと流行がおこるまで有効なワクチンは製造できません。

過去に起こった新形インフルエンザのパンデミックではどのように対応していましたか？（CDC）

1957年に起こった新型インフルエンザは教訓的です。1957年4月、後にアジア風邪と呼ばれるインフルエンザが香港で250,000人に感染しました。この時、米国の研究者は、香港での流行が次のパンデミックを引き起こすと予想し、この後5か月間に

4. 000万人分のワクチンが作られました。予想通り、1957年9月にアジア風邪が米国に入ったとき、2,000万人が感染し、7万人が死亡しましたが、ワクチンは有効であったといわれています。1957年の経験からはパンデミックの前に十分な量のワクチンが準備できれば命を救える可能性があることがわかっています。

国は新形インフルエンザの流行に対してどのような準備をしているのですか？また、流行に対してどのような対策を取るのですか？（厚生労働省）

厚生労働省では、平成17年10月、国民への正確な情報の提供、予防や治療など、その流行状況に応じた対策を総合的に推進するため、厚生労働大臣を本部長とする「新型インフルエンザ対策推進本部」を設置しました。同時に、厚生労働省では、「新型インフルエンザ対策行動計画」を策定し、新型インフルエンザの発生状況に合わせた具体的な対策を講じることとしています。

新形インフルエンザについてわからないことはどこにといあわせればよいですか？（厚生労働省改変）

新型インフルエンザ等に関する情報は、各自治体・国・国立感染症研究所が随時更新する予定です。なお、また、ご不明な点につきましては、厚生労働省健康局、国立感染症研究所ホームページでもご覧になれます。

日本語のホームページ

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/02.html#1-1>

国立感染症研究所 感染症情報センターホームページ

<http://idsc.nih.gov/disease/influenza/pandemic/QAindex.html>

英語のホームページ

WHOホームページ

http://www.who.int/csr/disease/avian_influenza/pandemic/en/index.html

米国連邦政府保健省

<http://www.pandemicflu.gov/>

カナダ保健省

<http://www.pandemicflu.gov/>

英国保健省

<http://www.dh.gov.uk/en/PandemicFlu/index.htm>